

---

# 音楽分科会

---

## I 研究のあゆみ

- 4月20日(木) 2023年度名教組教研オリエンテーション  
(2023年度名教組教育研究活動の進め方) 【教育館】
- 5月2日(火) 発表テーマ報告・集約
- 5月18日(木) 研究計画の検討 【星ヶ丘小】  
(第1次実践の検討)
- 6月28日(水) 研究内容の検討 【星ヶ丘小】  
(第2次実践の検討と研究のまとめ方)
- 7月26日(水) リポートの検討 【星ヶ丘小】
- 8月～9月は全体での会は開かなかつたものの、市集会発表内容について個別に検討
- 9月16日(土) 第73回名古屋市小中特別支援学校教職員教育研究大会 【ウインクあいち】

## II 研究協議の概略

本分科会では、小学校から7本、中学校から3本の実践が報告された。その中でも、仲間と関わることで音楽表現を高め合ったり、音楽を形づくっている要素を手掛かりに、思いや意図に合った表現活動を行ったりするための手立ての工夫がなされた実践が多く見られた。実践内容は以下の通りである。

- 音の重なりや掛け合いの面白さを味わい、表現を高め合う器楽合奏の実践(1本)
- 仲間と一緒に音楽を奏でることで、表現する楽しさを実感できる器楽合奏の実践(1本)
- 仲間とともに合わせる楽しさを味わい、主体的・協働的に音楽表現を追求できる歌唱や器楽合奏の実践(1本)
- 仲間との協働的な活動を通して、音楽の楽しさを感じ、進んで取り組むことができる音楽づくりの実践(1本)
- 音楽を形づくっている要素を手掛かりに、表現する楽しさを感じられる音楽づくりの実践(1本)
- 音楽を形づくっている要素を手掛かりに、曲の特徴を感じ取ったり思いをもって表現したりすることができる鑑賞や歌唱の実践(1本)
- 音楽を形づくっている要素を手掛かりに、音楽のよさや面白さを感じ取って聴くことができる鑑賞の実践(1本)
- 思いや意図をもって表現を追求し、表現する喜びを感じられる歌唱の実践(1本)
- 歌詞がもつ意味や音楽を形づくっている要素を手掛かりに、思いや意図をもって表現することができる歌唱の実践(2本)

## III 今後に残された課題

- 低学年から音楽を形づくっている要素に触れる機会を多くつくり、聴き取ったことと感じ取ったこととを関わらせながら表現の工夫を考える力を育てることが大切である。
- 思いや意図をもつことで終わるのではなく、その思いや意図を音で表現するための力を身に付けていくことが大切である。
- 仲間と関わりながら表現の工夫を考える場合、仲間の表現のよさを感じ取るための聴く力を育てる必要がある。また、言葉による対話だけでなく、音による対話も行うことが大切である。